

「石巻市こども計画～第3期石巻市こども・若者未来プラン～（案）」に係るパブリック・コメントの実施結果について

【第2部】本市のこども・若者・子育てを取り巻く環境

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
1	26	2 アンケート調査からみる現状 (1) 調査の実施概要 ⑤生活困難の定義について	「こどもの生活における「生活困難」を、以下の3つの要素から分類しました」とあり、それら3つの要素は、低所得、家計の困難、こどもの体験や所有物の欠如と思われるが、これらの3つの要素をどのように組み合わせたかがわからない。 さらに、困窮層、周辺層の具体的な定義が分らない。	御指摘を踏まえ、計画書26ページに「生活困難の取扱い」について追記いたします。	有	計画書26ページに「生活困難の取扱い」について追記
2	29、30	2 アンケート調査からみる現状 (2) 子ども・子育て支援ニーズ調査（就学前児童保護者と小学生保護者） ⑥小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望（複数回答） ⑦小学校高学年のうちの放課後の過ごし方の希望（複数回答）	「希望」のみが記載されており、どこで過ごしているかという「現実」が記されていないため、希望と現実のギャップが分からない。実際にどこで過ごしているかも、測定しているのならここに掲載してほしい。 ギャップがわかって初めて、政策ニーズが確定できる。	御指摘のありました放課後の過ごし方の希望と現実のギャップにつきましては、計画書29ページに、対比できるような調査結果を追記いたします。	有	計画書29ページに「小学校低学年のうちの放課後の過ごし方（複数回答）」について追記
3	34、46、47	2 アンケート調査からみる現状 (2) 子ども・子育て支援ニーズ調査（就学前児童保護者と小学生保護者） ⑫子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに向けて市が取り組むべきこと (4) 子ども・若者の生活や意識に関する調査（高校生世代から39歳の市民） ④円滑に日常生活を送れなかった経験の有無（単数回答） ⑥子どもをもちたいと思わない理由（複数回答） ⑧市外に移りたい理由（複数回答）	「子育ての経済的負担の軽減」が飛びぬけて高い。この回答を見ると、回答全般に経済的困難が背景にあることがうかがえる。この回答が、象徴的だが（④およそ4割が、円滑に日常生活を送れなかった経験の有無の回答のほぼ4割が「あった」と回答、⑥子どもをもちたいと思わない理由について複数回答の最多が、「子育てや教育にお金がかかるから」、⑧市外に移りたい理由について複数回答の最多が、「進学先や就職先が少ないから」、今後の石巻市に必要な子ども・若者のための取組について複数回答の最多が「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」）。 これを率直に受ければ、57ページ以降に展開される政策部分の根本（一丁目一番地）は、経済対策にならざるを得ず、産業界との連携や就労支援などが必要である。 しかし、基本目標5「地域資源を最大限活用し、こども・若者の健やかな成長を地域全体で支援する」をみても、子育て世代、若者のための良好な雇用をつくりだすといった目標はない。行政の縦割りの結果と思われるが、まさに、個別目標1にあるように「包括的な支援体制の構築」が必要である。たとえば、生活困窮者自立支援事業の拡大などが想定される。また、基本目標4「若者の社会参画を支援し、住み続けたい、子育てしたいと思えるまちづくりを推進する」をみても、若者の居場所の充実、結婚促進、一般的な市民相談、医療福祉のみの人材確保しかなく、就労支援・雇用促進は明示的に用意されていない。	石巻市こども計画の策定に当たっては、こども・子育て支援に関する制度や、取り巻く環境、こども等の意見聴取（各種ニーズ等調査やこども若者参加の取組等）の結果から見えてきた課題等を踏まえて、5つの基本目標を掲げております。 特に、御意見にあります、「経済的困難を背景とする課題」の解決に向けては、こどもの権利（生きる・育つ・守られる・参加する）が守られているかという視点から、こども・若者を見守り支える体制を強化すること（基本目標1・個別目標4、基本目標2・個別目標2、基本目標4・個別目標3）、その特性やニーズに応じたきめ細かい支援を拡充するとともに、支援につないでいくこと（基本目標2・個別目標2及び3）が必要であると考えています。 また、本計画に掲げる施策を推進するために、これまでも、庁内検討会議（18課）を設置し、情報を共有しながら連携して取り組んできたところですが、更に、多様な支援ニーズに包括的に対応するため、基本目標5に「地域資源を最大限活用し、こども・若者の健やかな成長を地域全体で支援する」を掲げており、多職種との連携や、部局横断的な支援体制を強化し、生活困窮者自立支援事業や就業支援事業等につきましても、現状の把握に努めながら効果的に実施してまいりたいと考えております。 なお、若者への支援については、本計画に新たに「こども・若者計画」を包含し策定しており、若者世代が自分らしく社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来の見通しを持つことができるよう、相談支援体制の構築について検討してまいります。	無	—

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
4	35	2 アンケート調査からみる現状 (3) 子どもの生活についての調査（小学5年生と中学2年生の児童・生徒及び保護者） ①自分の体や気持ちで気になること（児童・生徒、複数回答）	困窮層ほど数値が高い項目が多い・・・「よく眠れない」、「頭が痛くなる」、「不安な気持ちになる」、「よくお腹が痛くなる」、「よく体が痛くなる」、「まわりが気になる」、「やる気が起きない」、その他。 P57以降に展開される政策部分で、こうした困窮層の子どもの心身のケアに対応する個別目標が見当たらない。 なお、調査結果では、このようにウェルビーイングに関して、困難層のほうが一貫して不調な項目が多く（この学校が好きだ、学校を休みたいと思うことがよくある、学校について悩んでいること、子どもの健康状態、保護者の健康状態、保護者の心の健康状態など）、心身のケアに関する包括的な対策が必要である。これは、基本目標2にある育児支援、周産期支援、発達支援といった個別政策では覆いきれず、よって、より太い政策の柱が必要である。なお、今回の計画では、他自治体の計画と比べて、ヤングケアラー対策が不足しているが、ヤングケアラー対策もこの柱に含まれる。 また、この表で「一般層」が生活困難層に含まれているのだが、一般層は生活困難層なのだろうか。また、この一般層の定義が分からない。	御意見にありますとおり、アンケート調査の結果からも、困窮層ほど、子どもの権利が守られていない状況が伺えます。 石巻市では、全てのこどもの権利が大切にされ、一人ひとりのこどもが健やかに成長できる社会づくりを目指して、県内で初めて、平成21年に「石巻市子どもの権利に関する条例」を制定し、こどもの権利保障を推進してまいりましたが、更に推進するため、本計画においては「こどもの権利」を柱とした理念を掲げております。 【基本理念】 こどもの権利を柱に、地域全体でこどもの育ちを見守り、支える「こども・子育てにやさしいまちづくり」 基本理念の実現に向けて、基本目標1・個別目標4として、「こどもの権利の侵害の防止・相談支援」を掲げ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー配置事業、少年センター相談事業、学びサポートセンター事業、いじめや自殺対策の推進などを通じて、こどもの心身のケアに努め、こどもを見守り支える体制の強化を目指してまいります。 また、ヤングケアラーへの支援の推進についても、本計画の事業・取組に位置づけており、早期発見・把握に努めるとともに、こども等の意向に寄り添いながら、関係機関が連携して必要な支援につなげてまいります。 なお、御指摘のありました、アンケート調査結果表において、「一般層」が「生活困難層」に含まれて表示されている件につきましては、26ページに「生活困窮層」の定義を明記したほか、表の体裁を整え（「生活困窮層」の記載を削除）、計画書35ページから43ページの関係する表を修正いたします。	有	計画書35ページから43ページに掲載のアンケート調査結果表の区分の体裁を整える。
5	40、41、43	2 アンケート調査からみる現状 (3) 子どもの生活についての調査（小学5年生と中学2年生の児童・生徒及び保護者） ④ 家や学校以外に安心して過ごせる居場所の有無（児童・生徒、単数回答） ⑧相談したいと思ったが、相談できなかった経験の有無（保護者、複数回答） ⑩子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに向けて市が取り組むべきこと（保護者、複数回答）	これを見ると、困窮層のほうが居場所のニーズが高いことがわかるが、57ページ以降に展開される政策部分において、困窮層の利用につながる居場所を設置する政策が、基本目標1・個別目標3で必要である。 つまり、基本目標1は、子どもの貧困対策ではない政策系として用意されていると思われるが、そこにおいても、困窮者優先の発想が求められる。 この項目も一例だが、このほかにも困窮層のほうがニーズが大きいものがある。「⑧ 相談したいと思ったが、相談できなかった経験の有無【護対者】1複数回答」、「⑩ 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりに向けて市で取り組むべきこと【護対者】1複数回答」におけるひとり親家庭に対する支援、障害がある子どもや家庭に対する支援など。これらの数字は、既にサービスが行われていても、アクセスや質量において不十分であることを示しており、既存政策の強化が必要である。	基本目標1・個別目標3「こどもの居場所・活動・体験の充実」は、どのような環境にあっても、こどもの誰もが、気軽に立ち寄り、利用や参加ができるよう、無料又は低廉な金額で各種事業や取組を実施するものです。全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所をもちながら、様々な学びや体験活動を通じて、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で成長できるよう、こども等の声や意見を聴きながら、地域・学校・行政等が一元となって、こどもの居場所づくりを推進してまいりたいと考えております。 また、困難を抱える世帯の課題の解決には、その特性や支援ニーズに応じたきめ細やかな支援が必要となることから、こども家庭センターを中心に、多様な主体が連携しながら、こどもや子育て世帯に対する総合的な相談支援体制の強化を図ってまいります。	無	—
6	50	3 こども等の意見聴取 (1) こども・若者参加の取組	こども・若者委員によるワークショップを行って、子ども若者の意見表明の機会を確保した点がよいと思った。計画の中間見直しの際には、どのような子ども若者の意見表明の機会を確保するのか、計画があれば、記載頂けないか。	本計画策定に向けて実施した「こども・若者参加の取組（こども等の意見を聴く取組）」を継続して実施していくために、「基本目標1・個別目標2（こどもの意見表明・参加の促進）」を掲げ、新規事業として、こどもまんなか推進事業を実施する予定です。 当事業の実施・検証を踏まえ、今後の事業展開を検討してまいりたいと考えております。	無	—

【第4部】施策の展開

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
7	62	基本目標1 「こどもの権利を保障し、こどもの健やかな成長を支援する」 個別目標1「こどもの権利の理解促進」の推進について	子どもの権利教材の制作を石巻市として取り組んでいるかと思う。指標及び目標値にその学校実施率を設定することはできないのか。また、主な取組に「子どもの権利の権利教材を活用した授業の実施」を記載できないか。	本計画に掲げる各取組・事業の指標については、主な成果指標を中心に掲載しており、計画の取組状況や成果の達成状況につきましては、あらゆる視点から「石巻市子ども・子育て会議」において定期的に点検・評価・審議することとしております。 御意見にあります「子どもの権利教材の授業での取り扱い率」の指標につきましても、評価の際にお示しできるよう、関係課と集計方法等を検討してまいります。	無	—
8	62	個別目標1・主な取組1「こどもの権利の普及啓発」について	こどもの権利の認知度と理解度を向上させる指標と目標値に対する主な取組として、現状上がっている3つに加え、昨年度・今年度に石巻市が小中学生向けに作成を行なった子どもの権利教材の授業での取り扱い率の向上を加えてはどうか。 上記によって「子どもの権利」という言葉だけの認知度ではなく理解度の向上につながると考えており、よって目標値へ大きく近づけるための一助になるのではないかと感じる。	本計画に掲げる各取組・事業の指標については、主な成果指標を中心に掲載しており、計画の取組状況や成果の達成状況につきましては、あらゆる視点から「石巻市子ども・子育て会議」において定期的に点検・評価・審議することとしております。 御意見にあります「子どもの権利教材の授業での取り扱い率」の指標につきましても、評価の際にお示しできるよう、関係課と検討してまいります。	無	—
9	63	個別目標2「こどもの意見表明・参加の促進」について	新規事業として「こどもまんなか推進事業(こども等の意見反映)」が計画され、こどもや若者が自ら企画立案するアクションへの支援を検討している点が良いと思った。	こどもや若者ならではの視点を大切にしながら、効果的な取組となるよう推進してまいりたいと考えております。	無	—
10	64	個別目標3「こどもの居場所・活動・体験の充実」の指標について	現在採用している『家や学校以外に居場所があると感じている割合』に加え、『親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合』に該当するような指標を取り入れてはどうか。 全てのこどもが安全で安心して過ごせるためにはそのような多くの居場所や学び・体験活動ができることはもちろんだが、それに加え、信頼し安心して話ができる大人の存在がいることも子どもにとって安全で安心して生活ができることにつながると考えているため、上記のような指標を加えることに意義があると感じた。	本計画の個別目標を達成するための「総合的な指標」については、現状値（令和5年度）を踏まえて目標値（令和11年度）を設定するため、本計画策定に向けて令和5年度に実施した「各種ニーズ等調査」や「市民意識調査」等の結果から、市民の認知度や満足度等を指標としております。 御意見は、今後の指標や目標値設定の参考とさせていただきます。	無	—

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
11	64	個別目標3「こどもの居場所・活動・経験の充実」について	子育てをする立場から、ぜひ石巻市に、大型遊具があり室内でも子供が十分に運動や活動ができる広さを兼ね備えた無料の屋内施設(児童館、支援センター)を建設していただきたい。このような施設があるだけで、毎日の子育てがとても楽になるし、子育てを市が支えてくれているという実感が得られれば、少子化の改善に繋がるのではないと思う。 是非一度市長に、山形「げんきっず」「けやきホール」、屋外施設は、「あそびあランド」など魅力的な児童施設があるので隣の他様々な無料室内施設へ視察に足を運んでいただき、石巻市との違いを体感していただきたい。 ・市内には大小様々な公園はあるが、草刈りやメンテナンスなどの環境美化がされていなかったり、屋根や休憩スペースがなく、夏の暑さや冬の寒さなど、環境要因により長時間の利用を諦めざるを得ないなど、一年を通して満足以遊ばせてあげられる場所がない。 ・また、支援センターはあるが、そこまで広さがあるわけでも、遊具があるわけではないので、2歳以上になると活動の物足りなさがある。 ・子供の体質によっては、花粉症などで外で遊びたいけど、外遊びさせられない家庭もあると聞く。近隣の山形や福島には大型無料室内施設があり、仙台に在住の方はわざわざ県をまたいでそちらを利用すると聞く。宮城には有料の室内施設はあるが、お金を払いながら毎日利用するのは決して現実的ではない。 ・利府に今年、無料の室内遊具のある施設が出来たが、宮城では珍しい為か利用者が多すぎて、とても気軽に利用できる状況ではない。 ・山形ではインフルエンザ予防接種の助成金や、出産ではなく妊娠段階でも助成金が出たりと隣の宮城とはかなり支援に差があるなど感じている。 ・昔と違い、夏の暑さもかなり厳しくなっている。一年を通して、子供を安全に安心して外遊びさせてあげられる日数は、いったいいくらあるのか？ ・宮城の子供肥満率も高いので、ぜひ検討いただきたい。 ・妹が山形に嫁ぎ、出産のために石巻に里帰りしてきだが、上の子を遊ばせられる所が少なく毎日不便と嘆いている。山形にいたときは子供を遊ばせることに困ったことがなかったという。実家がなくても、山形で子育てしていたほうが育児しやすいという。 ぜひ、石巻で子育てしている人もそう感じる場所になってほしい。	御意見にありますとおり、本市の児童館は子どもセンター「らいっつ」1か所となっております。子育て支援センターは市内に12か所設置しているものの、事業の目的上おおむね3歳未満の児童とその保護者を対象としていることから、3歳以上の児童やその保護者が過ごせる居場所は少なく、拡充が求められております。また、夏の暑さなど、環境の変化に応じた屋内の居場所づくりの必要性も課題として認識しております。 課題解決に向けて、令和4年度から、こどもや子育てに関わる方の声や意見を聴く取組(子どもの居場所づくり懇談会等)を実施しております。こども等からの意見を施策につなげ、市内各地区の公民館等で「移動型児童館」を開設するなど、まずは、できるところから工夫して、子どもの居場所づくりを進めているところですが、更に推進していくために、「石巻市こども計画」の個別目標に「こどもや若者の居場所の充実」を掲げており、達成に向けて、行政、地域、学校、こども・子育て関係団体等が一丸となって、こどもや若者、子育て当事者等の声や意見を取り入れながら、居場所の拡充を図ってまいります。	無	—
12	64	個別目標3「こどもの居場所・活動・体験の充実」について	公園の整備・充実の指標が公園遊具の健全度評価における「C・D判定」の割合となっているが、「家や学校以外に居場所があると感じている割合」を指標としていることから、公園が居場所となっているか評価するために「こどもたちの公園の利用率」など別の指標も必要ではないか。	公園は、子どもの居場所となる施設のひとつであり、場所によってその他の施設の配置状況等も異なることから、利用率の指標を設けることは困難であると考えられます。よって、いつでも安心・安全に利用できる環境を整えることを目標としております。	無	—

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
13	65	個別目標3・その他の取組・事業「ささえあいセンターにおける子育て・次世代支援事業」について	ささえあいセンターは、利便性も高く、現状、高校生を中心とした子ども若者の利用が多くあり、重要な拠点であると感じている。 しかし、自習室代わりの利用が多く、「居場所」となっているかどうか評価できないと思う。「ラウンジを広く市民に開放し、児童生徒が過ごしやすい居場所づくりに努め、青少年の健全育成を図る。」と記載があるが、具体的な指標や事業・支援を記載頂けないか。また、ささえあいセンターを利用している子ども若者への意見聴取の取組の予定はあるか。	当事業については、ささえあいセンター開設の際に、児童生徒が当施設のラウンジを利用することを見込み、青少年の健全育成のために少年センターによる巡回を行いながら事業を実施する予定でしたが、令和3年3月から、当施設が新型コロナウイルスワクチン接種の会場となり、事業が実施できない状況が続いておりました。その後、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受け、事業を再開しております。 当事業の指標については、「少年センターによる巡回を実施すること」としており、児童生徒が気軽に立ち寄り、過ごしやすい居場所となるよう、利用者のニーズも踏まえながら見守りを継続してまいりたいと考えております。	無	—
14	78	基本目標3 「こどもと子育て家庭を支える教育・保育環境を整備する」 個別目標2・主な取組2 「放課後児童健全育成事業」について	基本目標3の指標が『現在、利用している教育・保育施設に満足している割合』ということから、主な取組2の放課後児童健全育成事業における指標が放課後児童クラブの開所数ではないと感じる。 上記を石巻市子育て支援課で取っている放課後児童クラブの保護者を対象とした放課後児童クラブに関するアンケート内の設問「児童クラブ支援員等の対応に満足していますか」や「活動内容についてはどのようにお感じですか」への回答においての大満足・満足の割合の向上に変更すると、より基本目標3の指標の目標値到達に役立つと考える。	御意見にあります、『現在、利用している教育・保育施設に満足している割合』については、基本目標3・個別目標1（幼児教育・保育の充実）を達成するための総合的な指標となっております。基本目標3・個別目標2（多様な保育サービスの充実）を達成するための目標として、「保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数」を掲げ待機児童の解消に努めることとしております。そのため、主な取組2の指標につきましては、放課後児童クラブの開所数の確保を目標としているところであります。その運用にあたりましては、御意見にありますように、児童クラブ支援員等の対応や活動内容への満足度といった指標も重要であると考えておりますことから、当事業の評価に際しては、こうした指標もお示しできるよう、引き続き、利用者の意向の把握に努めてまいります。	無	—
15	78	個別目標2・主な取組2 「放課後児童健全育成事業」について	放課後児童クラブに関する指標が「開所数」のみとなっているが、子どもの権利の視点から質的に子どもにとってよい場となっているか評価するための「指標」が必要だと思うが、別の指標も設定することを検討頂けないか。	基本目標3・個別目標2（多様な保育サービスの充実）を達成するための目標として、「保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数」を掲げ待機児童の解消に努めることとしております。そのため、主な取組2の指標につきましては、放課後児童クラブの開所数の確保を目標としているところであります。その運用にあたりましては、御意見にありますように、子どもの権利の視点から質的に子どもにとってよい場となっているか評価するための「指標」も重要であると考えておりますことから、当事業の評価に際しては、こうした指標もお示しできるよう、引き続き、利用者の意向の把握に努めてまいります。	無	—

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
16	80	個別目標3「学校教育・社会教育・学習支援の充実」について	項目が「学校教育・社会教育・学習支援の充実」とあるが、指標は「この学校が好きだと感じている割合」と「学校の授業をわかりやすいと感じている割合」の2つであり、「社会教育」に関する記載がないかと思う。また、事業を見ても、担当課が学校教育課であるものも多く、「社会教育」の取り組みがないように見受けられます。ジュニアリーダーや図書館、博物館の取組など石巻では社会教育の取組も行っているかと思うが、指標や事業としては記載しないのか。 (指標例) 第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン(P74-75) 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童の割合 親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合	社会教育とは学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動を指すとされており、社会教育施設として、公民館や図書館、博物館などがあげられますが、広く市民向けの施設となる公民館等の事業につきましては、本市の最上位計画であります、石巻市総合計画（実施計画：第5章第5節「豊かな地域社会を育む生涯学習の推進」）において目標立てて推進されているところです。 石巻市総合計画の個別計画の位置付けとなる本計画におきましては、主となる事業目的に応じて再掲表示を行わず分類・整理した上で、特に、こども向けに展開する事業・取組として、「ふるさと子どもカレッジ事業」、「放課後子ども教室推進事業」、「ブックスタート事業」、「家庭教育支援事業」、「協働教育推進事業」等について、「基本目標1・個別目標3」、「基本目標3・個別目標5」、「基本目標5・個別目標3」に掲載しており、各種事業や取組を推進することで、「基本目標3・個別目標3」の達成につなげてまいりたいと考えております。	無	—
17	80	個別目標3への「スポーツ振興事業」の再掲について	69ページに記載がある「個別目標1 母子の健康の確保及び増進 主な取組6 スポーツ振興事業」は、むしろこちら（個別目標3「学校教育・社会教育・学習支援の充実」）に記載あるいは再掲ではないのか。	再掲表示については、計画書61ページに記載のとおり、本計画では取組・事業の再掲表示は行わないこととし、主となる事業目的に応じて、分類・整理しております。	無	—
18	82	個別目標4・主な取組1「実践的な避難訓練の実施」について	指標が「避難訓練実施率」となっており、現状値が100%、目標値も100%となっている。東日本大震災最大の被災地として、「避難訓練実施率」が100%であることは当たり前であり、さらに既に100%であるにも関わらず、指標として掲げるべきものではないと思う。「実践的」な避難訓練の評価指標として、自己評価や第三者評価による避難訓練の達成度をABCD評価するなど別の指標にするべきではないか。	本計画に掲げる各取組・事業の指標については、主な成果指標を中心に掲載しており、計画の取組状況や成果の達成状況につきましては、あらゆる視点から「石巻市子ども・子育て会議」において定期的に点検・評価・審議することとしております。 御意見は、今後の指標や目標値設定の参考とさせていただきます。	無	—
19	82	個別目標4・主な取組2「防災教育副読本の活用」について	指標が「副読本を用いた授業の実施率」となっており、現状値が100%、目標値も100%となっている。上記に記載した「実践的な避難訓練の実施」同様、東日本大震災最大の被災地として、「実施率」が100%であることは当たり前であり、さらに既に100%であるにも関わらず、指標として掲げるべきものではないと思う。「副読本による生徒児童の意識変容」（家庭で話す機会になったなど）が評価できる別の指標が必要ではないか。	本計画に掲げる各取組・事業の指標については、主な成果指標を中心に掲載しており、計画の取組状況や成果の達成状況につきましては、あらゆる視点から「石巻市子ども・子育て会議」において定期的に点検・評価・審議することとしております。 御意見は、今後の指標や目標値設定の参考とさせていただきます。	無	—

番号	掲載ページ	項目	御意見の概要	市の考え方	計画修正の有無	修正内容
20	86	基本目標4 「若者の社会参画を支援し、住み続けたい、子育てしたいと思えるまちづくりを推進する」 個別目標1 「若者の居場所・社会参画の充実」について	若者の社会参画支援について、以下の2つ観点からも、実施事業を検討頂けないか。 ①「若者」が地域のことを知る機会を増やす支援 ② 若者に「選ばれる」魅力的な地域になるための支援 昨年、私たちが行った調査（高校生 1800 人超対象）では、地元高校生の大多数が「大学進学や就職を期に石巻を離れ戻ってこない」ことを希望している。 そこで石巻の若者には、「より地域の事を知る機会（地域社会に参画する機会）」と「若者に選んでもらえる魅力的な地域（特に働くことへの支援）」が必要ではないかと考える。	計画書86ページ「施策の方針」に記載のとおり、若者世代が意見や考えを発信し社会づくりに参画できる機会の確保に努め、住み続けたいと思えるまちづくりを推進することは、重要であると考えております。 こどもまんなか推進事業（こども等の意見聴取）と連動し、若者世代の声や意見を聴きながら、若者の居場所の拡充を図るとともに、御意見にあります若者への支援事業の在り方についても、検討してまいりたいと考えております。	無	—
21	86	個別目標1・主な取組2 「こどもまんなか推進事業（若者の居場所拡充）」について	【新規事業】として若者が気軽に立ち寄り、安心して過ごすことができる居場所を拡充することが明記された点はとてもよいと思う。	若者の居場所拡充を目指し、若者の声を聴きながら、推進してまいりたいと考えております。	無	—
22	88	個別目標3・主な取組3 「定住促進奨学金返還支援事業」について	地域包括ケアの推進に必要な有資格者以外の方も対象となった点がよいと思う。	事業周知に努めながら、推進してまいりたいと考えております。	無	—
23	90	基本目標5 「地域資源を最大限活用し、こども・若者の健やかや成長を地域全体で支援する」 個別目標2「地域における子育て支援活動の推進」について	指標が「地域活動へ参加する市民の割合」となっているが、「地域における子育て支援活動の推進」ができているか評価するためには指標として不十分だと思う。 「地域における子育て支援活動」に参加した子育て世代の割合など別の指標も加えて設定できないか。	本計画の個別目標を達成するための「総合的な指標」については、現状値（令和5年度）を踏まえて目標値（令和11年度）を設定するため、本計画策定に向けて令和5年度に実施した「各種ニーズ等調査」や「市民意識調査」等の結果から、市民の認知度や満足度等を指標としております。 御意見は、今後の指標や目標値設定の参考とさせていただきます。	無	—
24	91	個別目標2「地域における子育て支援活動の推進」について	「その他の取組・事業」として、「地域子ども食堂支援事業」、「移動型プレーパーク支援事業」が記載されていますが、64ページ「個別目標3 こどもの居場所・活動・体験の充実」としても位置づけられる取組であると思うので、再掲など両方に記載することはできないか。	再掲表示については、計画書61ページに記載のとおり、本計画では取組・事業の再掲表示は行わないこととし、主となる事業目的に応じて、分類・整理しております。	無	—
25	92	個別目標3「地域連携体制の強化」について	「主な取組2」として、「協働教育推進事業」の記載がありますが、現状値が既に100%の状況であるならば、目標値を100%にするのではなく、別の指標の設定をする必要があると思う。自己評価や第三者評価による達成度に関するA B C D評価など別の指標にするべきではないか。	本計画に掲げる各取組・事業の指標については、主な成果指標を中心に掲載しており、計画の取組状況や成果の達成状況につきましては、あらゆる視点から「石巻市子ども・子育て会議」において定期的に点検・評価・審議することとしております。 御意見は、今後の指標や目標値設定の参考とさせていただきます。	無	—